

アカデミック・リンクによる 千葉大学の教育改革

目的・趣旨 |

千葉大学では、平成23年4月に附属図書館、総合メディア基盤センター（現：統合情報センター）、普遍教育センターの協力により、アカデミック・リンク・センターを設置しました。アカデミック・リンク・センターは、千葉大学における教育改革を推進するための「アクティブ・ラーニング・スペース」「ティーチング・ハブ」「コンテンツ・ラボ」の3機能を備えています。これらの機能を生かしながら、学生の自由度の高い学習空間、コンテンツ、人的支援が有機的に結合した、知的刺激に満ちあふれた新しい学習環境を提供し、知識基盤社会で活躍できる「考える学生」を創造することを目的としています。

実施内容 |

附属図書館内のアクティブ・ラーニング・スペースにおいて自由に学習できる空間を学生に提供するとともに、学生（スチューデントアシスタント）による学生のための学習相談を実施しています。教員によるオフィスアワーや図書館員によるレファレンスサービスも実施し、学生、教員、職員の三者が一体となって学生を支援する体制を整えています。そのほか、授業の事前事後学習に資する資料を案内する「授業資料ナビ」や基礎的な科目をラーニング・マネジメント・システムを介して共同利用する電子的な物理学問題集の作成提供、授業そのものの映像資料化とオンライン提供、授業紹介ビデオの作成公開等の事業も進めています。また、学生の自律的学習を促進するために、昼休みの時間帯に教員、職員を講師とし、「教員が研究の楽しさを語る」「働く大人が学生に勧める一冊の本」といったテーマのショートセミナー（1210 あかりんアワー）を開催しています。



1210 あかりんアワーの様子

実施成果 |

千葉大学学習状況・情報利用環境調査や、フォーカス・グループ・インタビュー調査等の定性的調査を実施して、アカデミック・リンクの諸活動の成果を検証しています。その中で、学生の学習意欲が変わりつつあり、互いに教え合うという学習行動がアクティブ・ラーニング・スペースに特徴的に表れていることがわかってきました。また、そうした学生の変化が教員にもじわじわと波及し始めており、プレゼンテーションスペースなどのアカデミック・リンクの諸施設の教員による利用増加等につながってきています。

今後の展開・課題 |

アカデミック・リンクという新たな学修環境をいち早く構築できたことは、千葉大学の強み、特色の一つとなっており、これを生かした更なる環境整備と不断の改善を継続することが今後の課題となっています。本事業は図書館機能強化の先駆的具體例として多くの大学関係者の注目を集めてきたところであり、今後も活動を強化し展開していきます。



アクティブ・ラーニング・スペースの様子

参考文献・URL |

アカデミック・リンク・センター <http://alc.chiba-u.jp/>

連絡先 |

千葉大学附属図書館利用支援企画課

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 TEL: 043-290-2243